

第74号

令和2年10月15日発行

目次

巻頭ごあいさつ	1
新しい大学像への模索	2
「話すこと」の効用	3
恩師の足跡	3
支部会だより	4
山崎先生と迎える森鷗外の軌跡レポート	5
学祖・跡見花蹊 生誕百八十年を記念して	6
総会報告	7
事務局より・大学より	8



一紫会

第二代会長 伊藤嘉夫先生筆

1969年 第1回卒業式記念撮影（本館屋上）卒業アルバムより

つながろう！一紫会

「桜花」画 花蹊喜寿記念手帳より 花蹊記念資料館提供

ごあいさつ

幹事長 羽吹綾子



一紫会会員の皆様、
ごきげんよう。

新型コロナウイルス

振るい、不安な日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。まずは、昨今の甚大な自然災害に際し、被害に遭われた地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。

三月十八日の大学卒業式・一紫会入会式は、コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止となり、令和初の卒業生にお目にかかれず大変残念でした。この場をお借りして、五十二回生の新会員の皆様、ご卒業おめでとうございます。跡見で学ばれたことを活かし、新たな社会環境の中で大きく羽ばたいてくださることを切に願っております。

その後の大学入学式、一紫会総会も中止となりました。これは昭和四十三年（一九六八）の一紫会創設以来、初めての出来事です。

相次ぐ中止の中、一紫会は「つながろう一紫会」をスローガンに掲げ、常任幹事一丸となり活動しております。今年度はコロナ禍による学生支援の一助といたしまして、修学援助奨学金を増額させていただきました。また、一紫会オリジナル「跡見マスク」を作成し、全学生へ配布させていただきま

されている「桜花」でございます。跡見と花蹊先生をより身近に感じていただけるのではないのでしょうか。

支部活動においては、一紫会にとって十一番目となる『静岡支部』が新たに発足し、一紫会会員総数も三万四千四二八名となりました。全国規模で活動が行えますのも、会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と心から感謝いたしております。未来の校友会活動、新たな企画づくり等、日々意見交換をし合い、より良い一紫会になるよう今後も努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、令和二年（二〇二〇）の今年は、学祖・跡見花蹊先生の生誕百八十年という記念すべき年です。跡見の建学の精神「自律し、自立した女性」を胸に、いま、何が大切なのかを常に考え、自分や他人を思いやる心を忘れず、自分自身を磨いてまいりましょう。そして、笠原清志学長が仰る「どんな未来にでも美しく生きていける人」をも目指し、このような困難な時代だからこそ、当たり前だと思っている日常がどんなに素晴らしいことが改めて感謝しながら、想像力を働かせ、力を合わせて乗り越えてまいりましょう。

コロナウィルスが一日も早く終息し、平穏な日常が取り戻せますよう、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げ、また笑顔で再会できますことを楽しみにしております。

新型コロナウイルスから見えるもの

新しい大学像への模索

学長 笠原清志

1 街から人が消えた

昨年の12月下旬に、中国の武漢でウイルス感染が発生したことを知らせるニュースを聞いた記憶があります。しかし、それは中国の遠い一都市での出来事であり、誰もが自分の生活に被害が及ぶとは全く思っていなかったのではないのでしょうか。ましてや、ウイルス感染が世界を不安と恐怖のどん底に追いやる事になるとは想像すらできなかったと思います。そして、その二、三ヶ月後には、日本でも全ての大学の卒業式や入学式が中止となり、4月7日には緊急事態宣言が発せられ、大学は閉鎖され街から人が消えました。



2 オンライン教育の実施

跡見学園女子大学でも、授業再開は5月11日より、それも全ての授業をオンライン教育で実施する事が決まりました。大学が閉鎖されている以上、授業はインターネットを介した遠隔授業で行う以外に、ほぼ一ヶ月半の準備期間で全ての大学がオンライン教育に移行しました。語学から情報科目、そして体育も含む実技科目の一部もオンラインで行う事になりました。跡見学園女子大学の伝統的教養科目である茶道、華道、そして香道もオンラインで授業ができないか検討されました。その結果、香道は無理でしたが茶道や華道は工夫努力してもらい、オンライン教育で実施するか秋学期開講に移動してもらいました。ところが、いざ実施の段階になりますと、二つの問題が明らかになりました。



第一は、学生全てがオンライン教育に対応した情報端末と情報環境を備えていなかった事です。第二は、私のような情報機器に疎い先生にとっては、動画配信も含む双方向の授業など技術的に困難であるという事がはっきりしました。第一の問題については、全学生に対して一律5万円の修学支援金の支給によって、第二の問題についてはパワポや動画の作成、そしてズームやチームズの設定の仕方などの研修を開催し対応する事となりました。

3 対面授業の重要性

教育の原点が先生との出会いであり、共に学んだ友人との生涯にわたる交遊である事はよく知られています。共に出会うの場が必要であり、それは学校という場と制度によって保証されたものでした。教育は知識の習得だけではなく、学生は教師との出会いによって生き方自身も学んでいくものです。また、共に学ぶ友人がいなかったら、その後の人生がどれだけ寂しいものになってしまうか、容易に想像できると思います。

大学で行われているゼミナールや対面授業は、実は教育の原点とも言われる各種の出会いと場というものを制度的に保証したものです。したがって、オンライン教育の実施は、在宅での学びを可

能にする等、多少の利点はあるにせよ、教育の原点を静かに破壊し、学生一人ひとりを分断、孤立化させ、知識の習得のみが教育であるかのごとき状況を作ってしまう傾向があります。

4 新しい大学像への模索

新型コロナウイルスがこれだけ世界に拡散すると、強力なワクチンが開発されてもすぐ収束するとは考えられません。その上、第2波、第3波の罹患と蔓延の事態も想定されるところから、大学でのオンライン教育は今後も維持せざるを得ないものと思われます。今日、跡見学園女子大学でも、対面教育をどのように復活させるのか、またオンライン教育と対面授業をどのように組み合わせるのか、という事が厳しく問われていると思っています。

変化は時代の流れとともに、避けられないものです。変えてはいけなない大切なものは何か、そして環境変化に対応して変えていかなければならないものは何か、が問われているように思います。今までの生物の歴史は、環境変化に対応し、自らを変化・適応してきたものだけが生き残ってきたと言われています。組織、企業、そして大学も例外ではありません。ウイルス禍をきっかけに、日本では新しい大学像への模索が始まったと思われる。

「話すこと」の効用

心理学部長 野島 一彦 先生

このところコロナ禍でストレスが貯まる状況が続いています。そのため、家庭内暴力(DV)や虐待の増加、体調不良うつ病の発症等の問題が起っています。

心理学では、ストレス発散がうまくできないと人は、(1)行動化(暴力、暴言、ひきこもり等)、(2)身体化(頭痛、腹痛、倦怠感等)、(3)精神化(イライラ、ゆううつ、不安等)といった形で問題が生じると考えています。

そのような状態について対応するためには、体を動かす、散歩をする、食べる等で何とかしようします。それらはそれぞれに有効なのですが、心理学では「言語化」「話すこと」がとても有効だと考えられています。

ストレスが貯まりモヤモヤした心の状態について「話すこと」をしないと、「物言わぬは腹ふくるるわざなり」という言い方があるように、心身の不調が生じや



すくなります。

「話すこと」には二つの意味があります。一つは、モヤモヤを「話すこと」(はなすこと)は心の中に貯まったものを外に「離す・放すこと」(はなすこと)になり、心が軽くなったりスッキリしたりします。そのような現象を、専門語では「カタルシス」と言います。

もう一つは、「話すこと」によって、何に対して自分はモヤモヤしているのか、どうしたいのかが次第にはっきりしてきます。そのような現象を専門語では「自己客観視」と言います。

ちなみに人が「話すこと」を専門的に「聴くこと」をする職業があります。それはカウンセラーです。カウンセリングでは、「よく聴く」よく効く(効果的)、「よく聴かない」よく効かない(効果的でない)と言われています。クライアントは、カウンセラーがよく聴いてくれることによって、心の内をうまく話すことができ、心身の状態が安定化します。

言わずもがなですが、「話すこと」をする相手は、特にカウンセラーでなくてもよいのです。家族、仲間、友人等で特に予約をしたり、お金を払ったりしなくてもよいので、話す相手としてはとてもいいと思います。ストレスに対して、「話すこと」によって乗り切っていただ

恩師の足跡

去る7月18日、元学長・文学部英文文学科名誉教授の飯島周先生が、享年89歳にてご逝去なさいました。ここに先生の業績を偲ぶとともに、『一紫会だより』にご寄稿くださいました当時の文章を再掲させていただきます。

一紫会だより 62号より転載

(平成22年8月発行)

チエコ政府からの受賞

「GRATIAS AGIT賞」

飯島周 先生

昨春秋、たまたまチエコ共和国政府からGRATIAS AGIT賞(註)を頂戴しました。日本でのチエコ文化普及に貢献し、同国の名声を高めたという理



飯島先生の著書／訳本より

由ですが、ただ何となく興味がある仕事を続けていただけなので、まさに想定外でした。

首都プラハでの公式行事は九月三十日から三日間にわたり、チェルニン宮殿での受賞式を中心に、各種レセプション、コンサート、各所見学・遊覧と多彩。西洋中世の面影を留め、音楽・美術・文学の香り豊かなこの都で、友人たちと語りあえたことは又とない思い出として、スメタナの曲やピルゼンビールに接する度に蘇ることでしょう。



授賞式での飯島先生ご夫妻

(註) この賞はチエコ文化の研究・普及・国際交流の促進などの功労者に贈られるもので、チエコ政府・外務省の主催です。一九九七年に創設され、受賞者は文化人・学者・政治家・経済人など幅広く、映画『アマデウス』で有名なミロシュ・フォアマン監督、元米国国務長官マドレーヌ・オルブライト女史も含まれています。

支部会だより

昨年行われた支部会の模様を、写真にてご報告致します。尚、今年度に予定されていたすべての支部会は、コロナの影響で中止となりました。

第9回 北陸支部会

6月16日(日)

金沢市「せい月」にて

◆ 参加会員14名

山崎理事長・笠原学長



静岡支部会

7月7日(日)

ホテルアソシア静岡「梨杏」にて

◆ 参加会員28名



第7回 九州支部会

9月29日(日)

ホテルオークラ福岡「桃花林」にて

◆ 参加会員27名

山崎理事長・笠原学長



第8回 四国支部会

10月20日(日)

JRホテルクレメント高松「瀬戸」にて

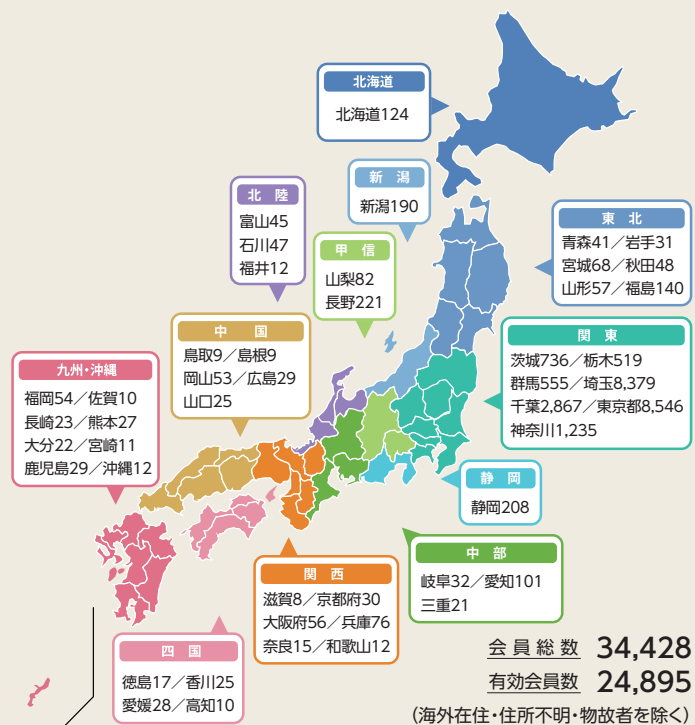
◆ 参加会員12名

山崎理事長・笠原学長



令和2年度 会員分布状況 (2020.4 現在)

会員の方は在宅地域の支部会へ参加することができます。
一紫会では、運営費全般と会費の一部を援助しております。
支部会についてのご希望やご意見をお寄せください。
(FAX及び郵送、宛先はP8参照)



松浦造船所見学



11月17日(日)
大崎上島 ホテル清風館にて
◆ 参加会員16名
笠原学長

第6回 中国支部会



山崎先生と辿る 森鷗外の軌跡レポート

2020.02.16催行

2019年10月の台風直撃予想のため、山崎先生のご協力を賜りまして本年2月16日に延期し、無事開催されました。

参加者はあいにくの冷雨の朝、水月ホテル鷗外荘に集合。先着の先生は早くも皆様に囲まれ、参加者は三室にわかれて鷗外懷石をしばし堪能いたしました。

今回、先生の特別のお計らいで、『舞姫』のモデルの“エリゼ”その人の探求にかける作家へ寄せた解説文を特別授業して下さいました。正に『舞姫』執筆の館で講義される先生のお姿に、作家鷗外というより森林太郎その人の姿が重なり、鬼気せるものがございました。



先年、跡見の収蔵する原書に秘められた筆の痕跡から読み解かれる真実を、研究者の発想・思索と執念によって追いつめるその一瞬に立ち会った思いでした。質問がございましたらという問いかけにも皆様は一言も発せず、沈黙の内に熱い講話は終了致しました。

雨上がりの午後、鷗外荘を後にして文京区立森鷗外記念館へ移動。展示室では先生の鷗外ファミリー展の列品解説により拝観し、館内カフェでの懇談後、先生をお見送りして自由解散となりました。

会員の皆様は卒業後数十年を経ても尚、学び、識ることの歓びに溢れ、その笑顔は美しく輝いていらっしゃいました。

最後に記念館のボランティアガイドの方へかけられた「偉大な先生のお教えをいつまでも受けることが出来て素晴らしいですね、うらやましいです。」とのお言葉を胸に館をあとにいたしました。

[追記] 水月ホテル・鷗外荘はコロナ禍による経営不調のため、5月末に閉館しましたが、鷗外荘存続をかけて山崎先生はじめ有識者の方々と模索中とのことです。鷗外荘でのおもてなしに感謝申し上げます。

学祖・跡見花蹊

生誕百八十年を記念して



二〇二〇年は学祖・跡見花蹊生誕百八十年にあたります。

跡見校友会三会（泉会・桃李の会・一紫会）では、これを記念して、茗荷谷の跡見学園本部棟に掲揚するため、横断幕を企画・作成・寄贈いたしました。



（以下 跡見学園ホームページより転載）

学祖・跡見花蹊は、一八四〇（天保十二）年四月九日、摂津国木津村（現在の大阪市）で寺子屋を営む父・跡見重敬、母・幾野の次女として生まれ、瀧野と命名されました。代々庄屋を務めたほどの名家でした。

跡見家の再興を願う両親の期待を一身に担っていた花蹊は、四歳から両親に書を習い始め、十二歳の頃には石垣東山に入門して絵画を学び、十七歳で京都に遊学し、詩文・書法を宮原節庵、絵画を円山応立、中島来章、さらには画家の日根対山に師事して画域を深めました。

一八五九（安政六）年には父の私塾を受け継ぎ、独力で女子教育に着手しました。今日の跡見学園は、この家塾に始まります。

一八六五（慶応元）年に塾を京都に移しましたが、東京が日本の首都となったことを機に、花蹊も一八七〇（明治三）年に京都の家塾を閉じて東京に移住し、私塾を設けました。

一八七四（明治七）年には神田中猿樂町に校舎を新築し、一八七五（明治八）年に「跡見学校」を開校。上流名門の子女80余名が入学し、国語、漢籍、算術、習字、裁縫、插花、点茶、絵画等を教授し、跡見女学校のスタートとなりました。

二〇二〇（令和二）年、跡見学園は創立百四十五周年の歴史を重ね、学祖精神は未来永劫続きます。

二〇一九年度 一紫会活動報告

2019年

- 4/3(水) 大学・大学院入学式（新座キャンパス）
- 5/19(日) 第4回全国支部長会議 池袋東武百貨店パンケットホール
- 6/15(土) 跡見校友会本部総会 跡見学園法人棟会議室
- 6/15(土) 一紫会大学院奨励金授与式（文京キャンパス）
- 6/16(日) 第9回北陸支部会 金沢市 日本料理「せい月」
- 6/22(土) 一紫会幹事総会 池袋東武百貨店パンケットホール
- 7/7(日) 静岡茶話会 ホテルアソシア静岡「梨杏」
- 7/11(木) 学生会・紫祭実行委員会への活動費援助 法人棟一紫会会室
- 8/20(火) 「一紫会だより」73号発行
- 9/29(日) 第7回九州支部会 ホテルオークラ福岡「桃花林」
- 10/14(月) 祝 第24回歌舞伎観劇会 半蔵門 国立劇場
- 10/20(日) 第8回四国支部会 JRホテルクレメント高松「瀬戸」
- 11/2(土) 3(日) 紫祭(新座キャンパス)
- 11/17(日) 第6回中国支部会 大崎上島 ホテル清風館
- 12/13(金) 52回生一紫会入会カード回収(文京キャンパス)

2020年

- 1/31(金) 一紫会修学援助奨学金支給
- 2/12(金) 新幹事との顔合わせ 跡見学園法人棟 一紫会会室
- 2/16(日) 山崎一穎先生と迎える森鷗外の軌跡ツアー
水月ホテル鷗外荘(台東区)・森鷗外記念館(文京区)
- 中止 海外研修助成金授与式
- 中止 大学・大学院卒業式・一紫会入会式
- 中止 大学主催「第16回桜まつり」
- その他の活動
- ◆月例常任幹事会開催 ◆卒業記念品作成 ◆校友会本部常任幹事会
- ◆一紫会会員名簿管理 ◆ホームページ作成

一紫会では令和2年度の総会を6月21日（日）に予定し、幹事52名よりご出席の通知を頂き、例年通り準備を進めてまいりました。

しかし、ご存知のように新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、緊急事態宣言解除後も情勢の好転が望めなかったため、出席者の健康に配慮し、急きよ6月初旬に書面表決による総会決議を行うことを決定いたしました。

刻々と深刻化するコロナ禍において、常任幹事が一堂に会し会議を行うことも困難な状況ではありましたが、6月13日（土）、会計監査を実施し決算・予算の承認を受け、6月下旬には総会出席予定であった幹事の皆様へ資料を急ぎ送付。7月上旬までに表決の結果をご返信頂きました。幹事の皆様には、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。

その後、7月25日（土）と8月1日（土）の常任幹事会にて結果を集計し、全ての議案において3分の2以上の承認が得られたことを確認いたしました。書面表決の結果報告書は、8月初旬までに送付を完了しております。

今年度の総会は異例な形となりましたが、関係各位に深く御礼申し上げます。

新幹事紹介

本年度第52回卒業生より、左記の方々が一紫会幹事をお引き受けくださいました。紙面にてご紹介いたします。（敬称略 50音順）

《文学部》

◆人文学科

神田桃子・千合奈々
樽見祐季・福田紗菜

◆現代文化表現学科

勝又美輝・福井菜々子

◆コミュニケーション文化学科

大熊ありさ・菊地真央

◆臨床心理学科

菊池美紀・菅佳菜美

《マネジメント学部》

◆マネジメント学科

青木芹帆・尾澤友里恵
三須佐智子

◆生活環境マネジメント学科

大畑詩帆・小坂梨沙
直江美祐

《観光コミュニケーション学部》

◆観光デザイン学科

西潟琴美・宮澤玲実

◆コミュニケーションデザイン学科

前田穂奈実

令和元年度収支決算報告

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(収入の部)		(単位:円)			
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
収 入	会 費	22,120,000	21,960,000	△160,000	1,098名
	事 業 収 入	50,000	11,020	△38,980	
	受 取 利 息	10,000	83	△9,917	
	前年度繰越金	1,192,024	1,192,024	0	
合 計		23,372,024	23,163,127	△208,897	

(支出の部)		(単位:円)			
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事務費	通 信 費	500,000	176,236	△323,764	
	印 刷 費	5,000,000	4,654,050	△345,950	
	企 画 費	7,500,000	4,487,709	△3,012,291	
	記 念 品 費	3,000,000	2,125,200	△874,800	
	慶 弔 費	50,000	21,600	△28,400	
	校友会入会金	266,400	266,400	0	888名
	旅費・交通費	3,000,000	3,096,000	96,000	
	会 議 費	300,000	373,327	73,327	
	交 際 費	250,000	187,900	△62,100	
	備 品 費	50,000	0	△50,000	
	消 耗 品 費	200,000	199,956	△44	
	監 査 費	60,000	60,000	0	
	雑 費	50,000	79,020	29,020	
	予 備 費	45,624	0	△45,624	
奨学金	大学院奨励金	600,000	416,850	△183,150	
	修 学 援 助 金	1,000,000	1,178,000	178,000	
	海外研修助成金	1,500,000	1,630,000	130,000	
小 計		23,372,024	18,952,248	△4,419,776	
本 年 度 剰 余 金		0	4,210,879	4,210,879	
合 計		23,372,024	23,163,127	△208,897	

全会員数 34,428名 終身会費預り金 66,920,000
終身会費積立金残高 22,141,574

令和2年度収支予算

自令和2年4月1日
至令和3年3月31日

(収入の部)		(単位:円)	
	科 目	予 算 額	備 考
収 入	会 費	26,020,000	1,301名
	事 業 収 入	10,000	
	受 取 利 息	100	
	前年度繰越金	4,210,879	
合 計		30,240,979	

(支出の部)		(単位:円)	
	科 目	予 算 額	備 考
事務費	通 信 費	4,000,000	※1
	印 刷 費	2,000,000	
	企 画 費	5,500,000	
	記 念 品 費	4,000,000	
	慶 弔 費	100,000	
	校友会入会金	249,300	831名
	旅費・交通費	3,000,000	
	会 議 費	300,000	
	交 際 費	250,000	
	備 品 費	100,000	
	消 耗 品 費	250,000	
	監 査 費	60,000	
	雑 費	150,000	
	予 備 費	181,679	
奨学金	大学院奨励金	600,000	
	修 学 援 助 金	4,000,000	※2
	海外研修助成金	1,500,000	
積立金	終身会費積立金	4,000,000	
合 計		30,240,979	

※1 前年度に比較し通信費が高額になっている理由は、前年度は印刷費の中に組み込んでいた一紫会だよりの送料を今年度は通信費に計上するためです。
※2 修学援助金は今年度に関りコロナ禍により増額いたしました。

一紫会ホームページ公開

二〇二〇年十月に一紫会の公式ホームページが公開されました。

ホームページでは、一紫会の各種活動や行事など、跡見学園女子大学の卒業生を中心とする校友の皆さまに向けた情報を定期的に発信して参ります。これまで以上に一紫会を身近に感じて頂けますことを心より願っております。スマートフォンからもご覧頂けますので、是非ご活用ください。

ホームページ公開を記念して、一紫会オリジナルのチケットホルダーをプレゼントいたします。



先着1,000名様限定!
ホームページ公開記念
オリジナルグッズプレゼント

ご希望の方は左記要領にてお申し込みください。一紫会会員限定、一名につき一冊を送料無料にてお届けいたします。数に限りがありますので、無くなり次第終了とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

●お申し込み方法

ホームページのトップ画面下部より「オリジナルグッズ希望申込書」にアクセスし用紙を印刷して、必要事項をご記入の上、一紫会事務局宛にFAXにて(番号は下記参照)お送り下さい。印刷できない場合は申込書と同じ内容をお手元の用紙にご記入の上、郵送またはFAXで下記宛てお送りください。

●応募締切り

二〇二一年二月二十一日

事務局より

2020年度

各種イベント中止のお知らせ

今年度予定されておりました一紫会イベント(歌舞伎観劇会等)は、コロナウイルス感染拡大に鑑み全て中止となりました。

また、例年新座キャンパスで行われる大学主催による紫祭もコロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ中止となりました。

*オーブンキャンパス等は大学のホームページにてご確認ください。

各種お申し込み・ご連絡先

〒112-8629 東京都文京区大塚1-5-9 跡見学園
跡見校友会一紫会
FAX 03(3941)8642

— 会員所在確認のお願い —

近年、災害による移転など、転居先不明が多数出ています。ご友人が転居されていて、会報が届いていないことをご存知の方は、是非ご本人様より転居のご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

卒業生の皆様との絆を大切に守るため、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

— 住所・氏名の変更方法 —

以下の内容を記入し、住所変更と題して上記の一紫会事務局までFAX または封書・ハガキでお送り下さい。

1. 会員番号(分かる方のみ記入。一紫会だよりが届いている方は、封筒宛名の下のNo. です。)
2. 卒業回生・学科名・クラス(回生が不明の場合は、卒業年でも可)
3. 氏名(フリガナ)
4. 旧姓(フリガナ)
5. 現住所(郵便物を受け取ることのできる連絡先。郵便番号必須・様方など)
6. 電話番号(携帯可)

大学より

退職された先生方

文学部教授

三谷博先生

マネジメント学部教授

山下奨先生・金子祥之先生

観光コミュニケーション学部教授

老川慶喜先生・鶴理恵子先生

訃報

元学長・文学部英文学科名誉教授

飯島周先生

令和2年7月18日 享年89歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

在学生にマスクを!

先行き不透明なコロナ禍にあって、一紫会では大学の全在学生に向けて何かできることはないだろうかとの思いから、オリジナルマスクの作成を企画いたしました。



実物イメージ画像

抗菌布地を使用した淡いピンク色で日本製。左上に花蹊先生筆の喜寿記念手帳に記されている「桜花」のモチーフをグレーのラインであしらいました。

いつの時代にあっても在学生と一紫会は、同じ学び舎を通して一つにつながっています。どうぞこれからも心身ともにコロナに負けず、学業に励まれますように。

このマスクは、9月12日より実施された大学の秋学期オリエンテーションにて配布されました。配布に際し、ご尽力賜りました大学職員の皆さま方に、厚く御礼申し上げます。